

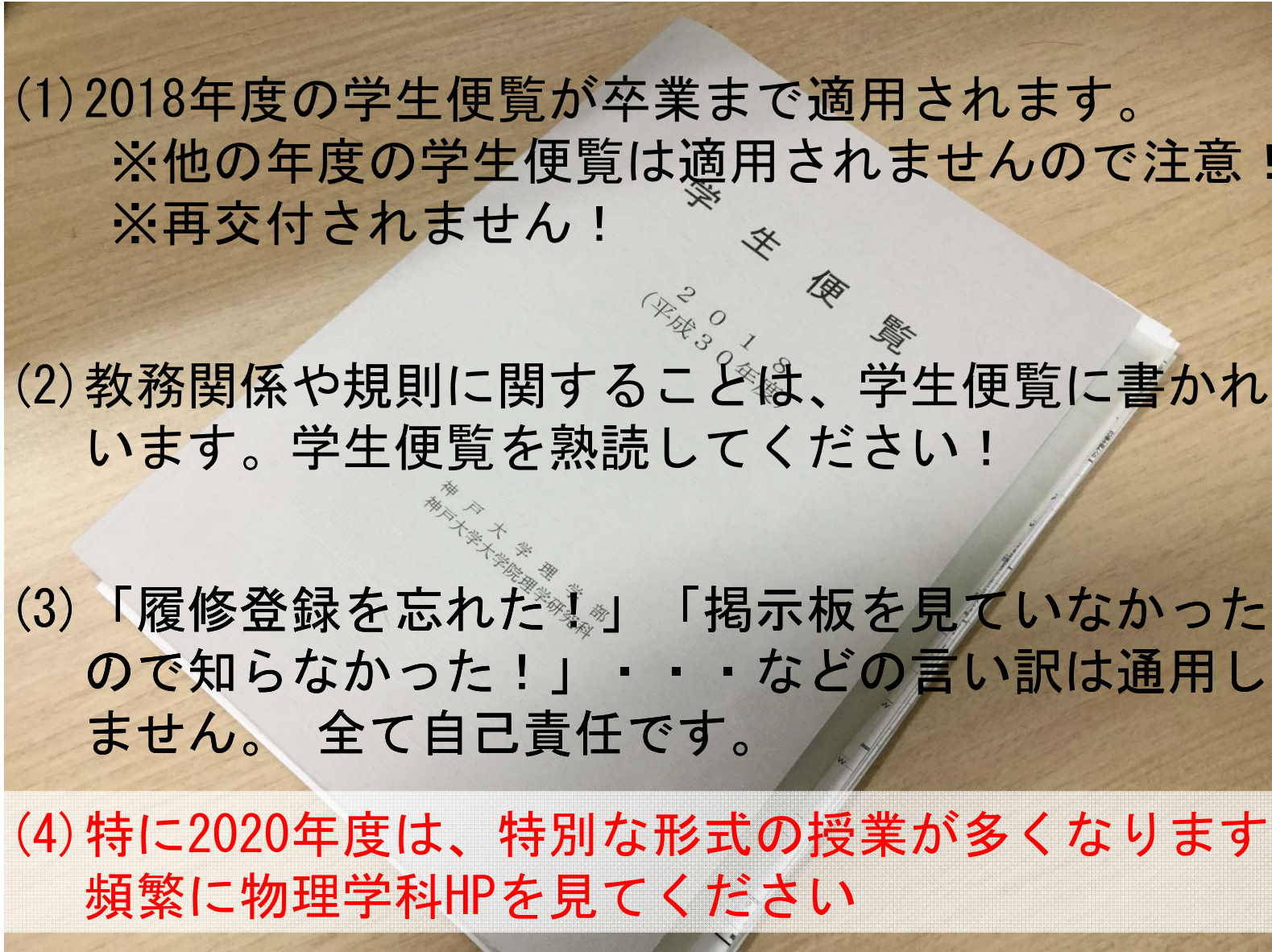
令和元年度（2020年度）理学部 編入学生ガイダンス

資料：学生便覧2018（平成30年度）

2020年度：教務委員 越智 敦彦
ochi@kobe-u.ac.jp

副教務委員 小手川 恒
kotegawa@crystal.kobe-u.ac.jp

！重要！

- 
- (1) 2018年度の学生便覧が卒業まで適用されます。
※他の年度の学生便覧は適用されませんので注意！
※再交付されません！
- (2) 教務関係や規則に関することは、学生便覧に書かれています。学生便覧を熟読してください！
- (3) 「履修登録を忘れた！」 「掲示板を見ていなかった
ので知らなかった！」・・・などの言い訳は通用
しません。 全て自己責任です。
- (4) 特に2020年度は、特別な形式の授業が多くなります。
頻繁に物理学科HPを見てください

生活上の一般的注意

- 悪徳商法・サギに関して
 - 不審なアンケートに応じない
 - 下宿を戸別訪問してくる相手は特に要注意
 - 知らない人には絶対にお金を貸さない
 - 知らない人には絶対にメール、電話番号を教えない
- 政治団体・宗教団体など
 - おかしなアンケートに注意
 - 知らない人に付いて行かない
 - 統一協会、原理研究会、CARP・・・
- 飲酒について
 - 一気飲み、飲酒の強要を絶対にしない、させない。
- 近隣住民への配慮を。
 - 通学路でのマナー(徒歩、バス、原付・・・)

大事なことを最初に

「単位の読み替え」に関する確認を行います。

電話にて行いますので、大学からの着信
(078-803-xxxx からの着信)を受けられるよう
にしてください。

六甲台第2キャンパス

第1クォータ(6/25まで)は大学に来ることはありません。



山側

市バス 六甲台南口

市バス 神大文理農学部前

市バス 神大正門前

市バス 神大本部工学部前

急六甲駅

副教務委員: 小手川
(理学部 B128室)

教務委員: 越智
(自然3号館315号室)

至 国道2号

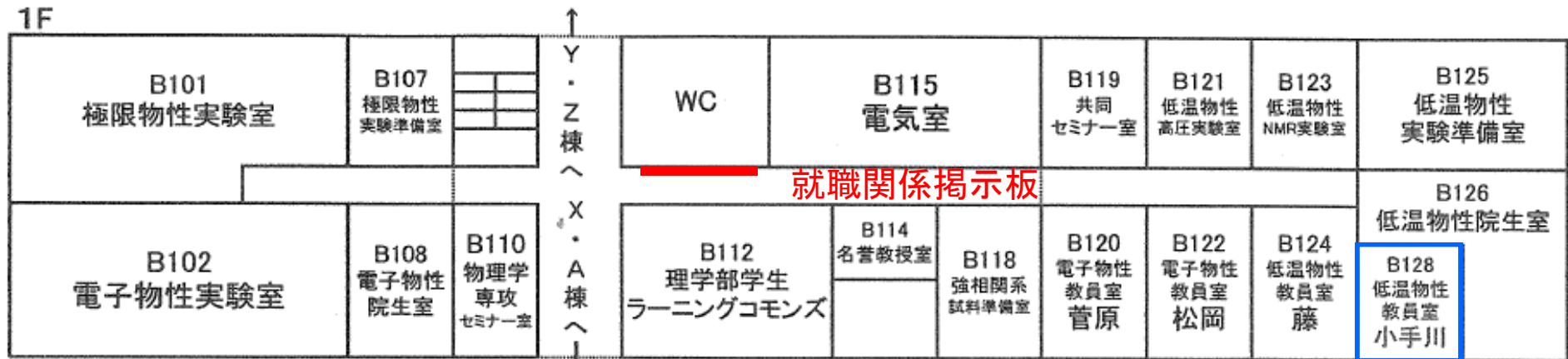


海側

バス停 駐輪場 食堂 売店 ATM AED ポスト 警備員

<理学部B棟>

学生便覧 p.265



**重要：大学に来られるようになったら、
掲示板を定期的にチェックしてください！
それまでは、物理学科HPをチェックして下さい**

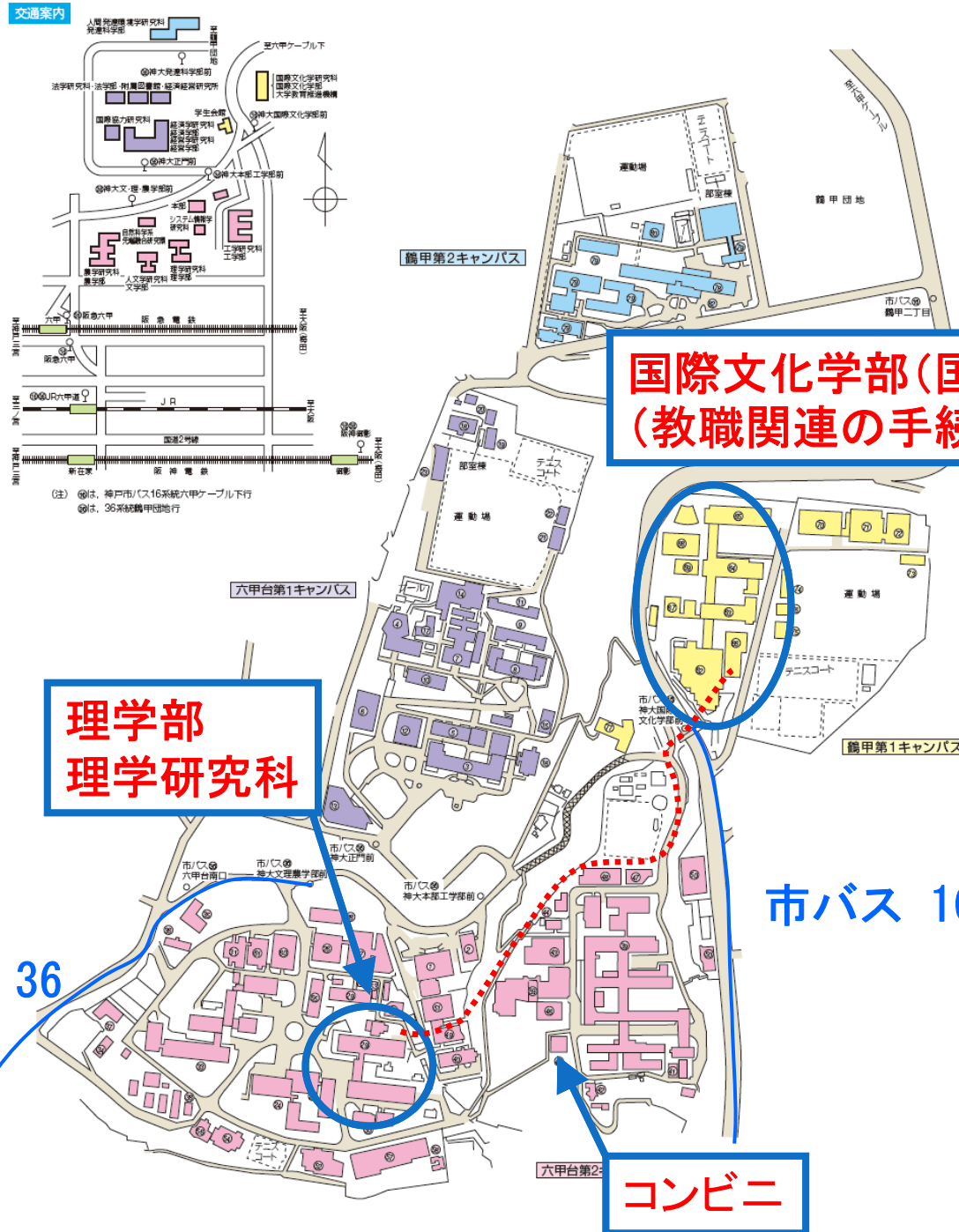


教務学生係

理学部
掲示板

物理事務室
(長谷)

学生便覧
p.272



修業年限、在学年限

修業年限
=2年

(編入生は
既に2年間
在籍したこ
とになる。)

在学年限
=修業年限
の2倍
=4年

(修業年限)

第22条 学部の修業年限は、4年とする。ただし、本学に3年以上在学した者（施行規則第149条に規定する者を含む。）が、卒業の要件として学部規則に定める単位を優秀な成績で修得したものと認められ、かつ、学生が卒業を希望する場合には卒業することができる。

2 前項ただし書に規定する卒業の認定の基準は、学部規則において定め、公表するものとする。

3 医学部医学科については、第1項の規定にかかわらず、その修業年限は6年とする。

4 学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、その計画的な履修を認めることができる。

5 前項に関して必要な事項は、関係の学部規則で定める。

(修業年限の通算)

第23条 科目等履修生（大学の学生以外の者に限る。）として本学において一定の単位を修得した者が本学に入学する場合においては、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、教授会の定めるところにより、修得した単位数その他の事項を勘案して前条の修業年限の2分の1を超えない期間を修業年限に通算することができる。

(在学年限)

第24条 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することはできない。

2 第22条第4項の規定により履修を認められた学生（以下「長期履修学生」という。）の在学年限については、関係の学部規則で定める。

(教育課程)

第25条 学部は、本学、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を次条第1項に定める区分に従って開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

休学、退学・除籍

(休学の許可)

第41条 学生が、疾病その他の理由により、3か月以上修学を休止しようとするときは、所属学部長の許可を得て休学することができる。

2 前項の休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があると認めるときは、学部長は、更に1年を超えない範囲内において休学期間の延長を認めることができる。当該延長に係る期間が満了した場合において、これを更に延長しようとするときも、同様とする。

第41条の2 前条の規定にかかわらず、医学部医学科の学生であって、第60条第1項の規程により医学研究科博士課程に早期入学するときは、医学部長の許可を得て、休学することができる。

2 前項の休学期間は、4年以内とする。ただし、特別の理由があると認めるときは、医学部長は、更に1年を超えない範囲内において休学期間の延長を認めることができる。当該延長に係る期間が満了した場合において、これを更に延長しようとするときも、同様とする。

(休学の解除)

第42条 前条の休学期間中にその理由が消滅したときは、所属学部長の許可を得て、復学することができる。

(休学の命令)

第43条 学生で、疾病により3か月以上修学を休止させることが適当と認められる者があるときは、学部長の申請により、学長が休学を命ずる。

(休学期間の取扱い)

第44条 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。ただし、第41条の2に規程する学生の休学期間の通算については、8年を限度として、医学部において別に定める。

2 休学期間は、在学年数に算入しない。

- ・ 休学は2年まで。
- ・ 休学期間は、在学年数に含めない。

学期末までに学費を
納入しないと除籍！

(退学)

第45条 学生が、退学しようとするときは、その理由を具し、所属学部長に願い出て許可を受けなければならない。

(疾病等による除籍)

第46条 学生が、疾病その他の理由により、成業の見込みがないと認められるときは、学部長の申請により、学長がこれを除籍する。

(入学金等未納による除籍)

第47条 学生が次の各号のいずれかに該当するときは、学部長がこれを除籍する。

(1) 第18条又は第19条の規定により入学金の免除又は徴収猶予を申請した者で、免除若しくは徴収猶予が不許可になったもの又は半額免除若しくは徴収猶予が許可になったものが、その者に係る納付すべき入学金を納付期限内に納付しないとき。

(2) 授業料の納付を怠り、督促を受けても、納付期限の属する学期の末日までに納付しないとき。

現時点(4/20 ガイダンス時)の今後のスケジュール

- 今年度は、特別なスケジュールを用います
 - 授業開始は、5/7 の予定です。
 - 第1クォータ終了時(6/25)までは、大学に来ることはありません。
 - 第1クォータの授業は遠隔で行います。
 - 通常は1クォータ当り、90分授業×7.5回ですが、今年度第1・2クォータは、105分授業×6.5回です。
- **状況が変化することがあるので、物理学科HPを常にチェックしてください！**

「2学期クォーター制」を実施しています

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター			第2クォーター			第3クォーター			第4クォーター		
授業			授業			授業			授業		

R2年度の授業期間

前期1Q 5/7-6/25

前期2Q 6/26-8/14

後期3Q 10/1-11/30

後期4Q 12/1-2/5

履修登録は学期(前期、後期)ごと、履修取消はクォーターごと

内容	クォーター	期日	備考
履修登録	1Q-2Q	4/20(月)9時～ 5/20(水)17時迄 5/5(火)まで!	1Q・2Qを同時に登録!
履修取消期間 (※2)	1Q	5/21(木)～5/27(水)23:59時迄	取消対象科目:1Q科目/前期科目
	2Q	7/10(金)～7/16(木)23:59時迄	取消対象科目:2Q科目
成績発表(※1)	1Q-2Q- 前期	9/11(金)9:00(予定)	



トピックス

固定	【在学生の皆さんへ】令和2(2020)年
固定	課外活動の中止又は延期について
固定	成績発表時期の変更について
固定	インフルエンザ等感染予防・拡大予
固定	新型コロナウイルスに対する本学の
2020/04/08	緊急事態宣言に伴う本学の対応に
2020/04/07	【重要！必ず確認してください】令和
2020/04/03	【重要！】令和3年度教育実習(中学
2020/04/03	【重要！】令和2年度教育実習事前
2020/04/03	【重要！】令和2年度前期(5月~11
2020/03/24	在学中の留学生の皆さんへ

カテゴリ一覧

授業／履修登録

- 履修登録／履修取消
- GPA
- 成績評価方針
- 2学期クォーター制
- キャンパスカレンダー
- 授業時間割

学生生活

- 学生生活に
- 願出、届出
- 各種証明書
- 通学定期乗
- 授業料
- 授業料・入

教務情報システム(うりぼーネット)の利用

- 学籍、履修、成績をうりぼーネットで確認、照会します。
- うりぼーネットのアドレスは
<http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/student.html>
- 履修登録などについて重要なアナウンスがあるので、上記ポータルの特ピックスもマメにチェックしてください。
- ログインは、既に皆さんにお送りした「神戸大学アカウント通知書」のIDを用います。
- 履修登録は4月20日(水)～5/5日(火)の17:00の期間中に行う。1Q・2Q併せて履修登録することに注意！
- 登録完了後、履修登録一覧を理学部教務係へ提出

「うりぼーネットの手引き」は、神戸大学HPうりぼーポータルに掲載

単位の基準、履修科目の登録の上限(キャップ制)

(授業科目及び単位数)

第3条 本学部における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 2 前項の授業科目の各年次の配当は、別に定める。
- 3 第1項に規定するもののほか、臨時に授業科目を開設することがある。
- 4 前項の授業科目及び単位数並びに授業科目の各年次の配当は、開設の都度定める。

講義の場合:

- ・週1コマなら1クォーターで1単位。
- ・週2コマなら1クォーターで2単位。

(単位の基準)

第4条 各授業科目の単位の計算は、次の基準による。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習、実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 数学講究については、論文等をもって8単位とする。
- (4) 特別研究については、論文等をもって6単位、8単位、10単位、12単位又は14単位とする。

(履修要件)

第5条 学生は、別表第2に定めるところに従い、所属する学科の所定の単位を修得しなければならない。

- 2 外国人留学生が教学規則第26条第2項の規定により開設された授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

通称「キャップ制」

履修できる単位数には上限がある。

- ・年間50単位
- ・1学期28単位

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、50単位とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として28単位までとする。

- 2 前条の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることがある。
- 3 前項に規定する履修科目の登録の上限を超える者の基準については、別に定める。

理学部の各授業科目の成績評価は以下のように行う。

1. 各担当教員は、
 - ・ 期末試験の成績
 - ・ 小テスト評価
 - ・ 中間テスト評価
 - ・ 平常点（宿題・レポート・質疑応答内容・提案・発言等）
 - ・ 授業の出席点
 等を用いて総合的に評価する。
2. 評価基準は下表のとおりとする。

評 語	評 点	評 価 基 準	合 否
秀	90～100	学修の目標を達成し、特に優れた成果を収めている	合 格
優	80～ 89	学修の目標を達成し、優れた成果を収めている	
良	70～ 79	学修の目標を達成し、良好な成果を収めている	
可	60～ 69	学修の目標を達成している	
不可	0～ 59	学修の目標を達成していない	不合格

GPA (Grade Point Average) について

神戸大学では、「学位授与に関する方針」に掲げる国際的に卓越した教育を保証し、「単位の実質化」を進めるため、平成24年度入学生(*)から「GPA (Grade Point Average)」を通知することになりました。

(* 学部編入学生や一部の大学院学生は含みません。)

I. GPAについて

「GPA」とは、下記「成績評価基準」(秀、優、良、可、不可)に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのGP (Grade Point) を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのGP平均値 (Average) です。

評語名 (和文)	評語名 (英文)	最小点	最大点	GP
秀	S	90	100	4.3
優	A	80	89	4
良	B	70	79	3
可	C	60	69	2
不可	F	0	59	0

※「可」以上が「合格」となり、単位が修得できる。

II. GPA計算について

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP〕の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む)}}$$

科目の種類

- **全学共通科目** : 全学の学生に共通
(基本的に1, 2年次で履修)
- **専門科目**
 - 共通専門基礎科目 : 理学部学生に共通
(1, 2年次で履修)
 - **物理学科専門科目** : 物理学科だけの科目
(1~4年次で履修)
- **高度教養科目**
 - 2年次以降で履修。4単位必要

編入生がこれから履修する科目

高度教養科目について

別表(第2条, 第3条関係)理学部高度教養科目

授 業 科 目	単位数	配当年次	備 考
Introduction to Mathematics	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Physics	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Chemistry	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Biology	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Planetology	1	2年次前期	英語による授業
表面と触媒の科学	1	3年次	理学部生履修不可
脳科学	1	3年次	理学部生履修不可
地球および惑星大気科学	1	3年次	理学部生履修不可
高度教養セミナー理学部	2	4年次	数学科, 物理学科, 化学科, 生物学科必修
高度教養セミナー理学部数学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部物理学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部化学入門	1	3年次後期	1単位を上限とする
高度教養セミナー理学部生物学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部惑星学入門	1	3年次後期	

履修要件

ロ 物理学科

授業科目の区分等	授業科目等	必要修得単位数	備考						
基礎教養科目	別表第1イに掲げる授業科目のうち区分「数学」、「惑星学」及び「情報科学」を除く授業科目	6							
総合教養科目	別表第1イに掲げる授業科目のうち物理学科除外科目を除く授業科目	6							
外国語科目	外国語第Ⅰ English Communication A1, English Communication A2, English Communication B1, English Communication B2, English Literacy A1, English Literacy A2, English Literacy B1, English Literacy B2, Productive English 1, Productive English 2, Autonomous English 1, Autonomous English 2	6							
	外国語第Ⅱ ドイツ語初級A1, フランス語初級A1, 中国語初級A1, ロシア語初級A1 ドイツ語初級A2, フランス語初級A2, 中国語初級A2, ロシア語初級A2 ドイツ語初級A3, フランス語初級A3, 中国語初級A3, ロシア語初級A3 ドイツ語初級A4, フランス語初級A4, 中国語初級A4, ロシア語初級A4 ドイツ語初級B1, フランス語初級B1, 中国語初級B1, ロシア語初級B1 ドイツ語初級B2, フランス語初級B2, 中国語初級B2, ロシア語初級B2 ドイツ語初級B3, フランス語初級B3, 中国語初級B3, ロシア語初級B3 ドイツ語初級B4, フランス語初級B4, 中国語初級B4, ロシア語初級B4 ドイツ語中級C1, フランス語中級C1, 中国語中級C1, ロシア語中級C1 ドイツ語中級C2, フランス語中級C2, 中国語中級C2, ロシア語中級C2	0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	4~5 ドイツ語, フランス語, 中国語及びロシア語のうちから1つ選択すること。						
		情報科目		情報基礎 情報科学1 情報科学2	1 0~2 1~3				
		健康・スポーツ科学		健康・スポーツ科学実習基礎1 健康・スポーツ科学実習基礎2 健康・スポーツ科学実習1 健康・スポーツ科学実習2 健康・スポーツ科学講義A 健康・スポーツ科学講義B 健康・スポーツ科学講義C	0.5 0.5 0~1 0又は1	1~3			
				高度教養科目	理学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち「高度教養セミナー-理学部」 理学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目(「高度教養セミナー-理学部」を除く。), 他学部及び国際教養教育院が開講する高度教養科目	2 2	4		
					共通専門基礎科目	必修科目 選択必修科目 特別研究を除く必修科目	10 2~4 6	特別研究A(実験系)及び特別研究B(理論系)から, いずれかを選択。早期卒業する者については, 特別研究A(実験系)10単位又は特別研究B(理論系)6単位を別表第1のハに掲げる授業科目の選択必修科目Ⅰ類及びⅡ類(10又は6単位)により修得したものとみなすことができる。	
				専門科目		特別研究 選択必修科目Ⅰ類 選択必修科目Ⅱ類 本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び物理学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目	6又は10 43~56 4~24 0~9		91~96
						合 計	124		

卒業には124単位必要

学生便覧 p.67

物理学科の 専門科目

主要な科目

選択必修II類

ハ 物理学科 (◎印は必修科目を、○印は選択必修科目を、●印は選択必修科目I類を、△印は選択必修科目II類を、▲印は選択科目を、◇印は特別研究A(実験系)又は特別研究B(理論系)のうち、いずれかが必修科目であることを示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位
共通 専門基礎科目	◎	微分積分1	1	専 門 科 目	●	惑星流体力学1	1
	◎	微分積分2	1		●	惑星流体力学2	1
	◎	微分積分3	1		●	統計物理学I	2
	◎	微分積分4	1		●	統計物理学II	2
	◎	線形代数1	1		●	統計物理学III	2
	◎	線形代数2	1		●	統計物理学IV	2
	◎	線形代数3	1		●	物理数学I	2
	◎	線形代数4	1		●	物理数学II	2
	○	基礎無機化学1	1		●	物理数学III	2
	○	基礎無機化学2	1		●	物理数学IV	2
	○	基礎有機化学1	1		●	量子力学I	2
	○	基礎有機化学2	1		●	量子力学II	2
	○	基礎物理化学1	1		●	量子力学III	2
	○	基礎物理化学2	1		●	量子力学IV	2
	◎	物理学実験	2		△	物理学情報処理演習	2
	○	生物学概論C1	1		△	特殊相対性理論	2
	○	生物学概論C2	1		△	電磁力学	1
	○	基礎地学1	1		△	宇宙物理学	2
	○	基礎地学2	1		△	一般相対性理論	2
	◎	初年次セミナー	1		△	物性物理学I	2
専 門 科 目	●	古典力学I	1	△	物性物理学II	2	
	●	古典力学II	1	△	素粒子物理学	2	
	●	剛体の力学	2	●	物理実験学	2	
	●	解析力学I	2	◎	物理学実験I	1.5	
	●	解析力学II	2	◎	物理学実験II	1.5	
	●	惑星学基礎I-1	1	●	物理学実験III	1.5	
	●	惑星学基礎I-2	1	●	物理学実験IV	1.5	
	●	惑星学基礎II-1	1	●	物理学実験V	1.5	
	●	惑星学基礎II-2	1	●	物理学実験VI	1.5	
	◎	現代物理学I	1	△	先端物理学	その程度 定める	
◎	現代物理学II	1	△	特別講義	その程度 定める		
専 門 科 目	●	古典電磁気学I	1	▲	物理学科化学概論	2	
	●	古典電磁気学II	1	▲	物理学科生物学概論	2	
	●	電磁気学I	2	▲	物理学科地学概論	2	
	●	電磁気学II	2	◇	特別研究A(実験系)	10	
	●	電磁気学III	2	◇	特別研究B(理論系)	6	
	●	熱統計物理学	2				

備考1 特別講義については、テーマが異なる場合には、2科目以上履修することができる。
 2 先端物理学については、2単位を上限とする。
 3 選択科目は物理学科学生のみ履修可能とする。

学生便覧 p.91-92

専門科目と履修年次

物理学科 (◎印は必修科目を、○印は選択必修科目を、●印は選択必修科目Ⅰ類を、△印は選択必修科目Ⅱ類を、▲印は選択科目を、◇印は特別研究A(実験系)又は特別研究B(理論系)のうちいずれかが必修科目であることを示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考		
				1学年		2学年		3学年		4学年				
				前	後	前	後	前	後	前	後			
共通専門基礎科目	◎	微分積分1	1	2									1Q	
	◎	微分積分2	1	2									2Q	
	◎	微分積分3	1		2								3Q	
	◎	微分積分4	1		2								4Q	
	◎	線形代数1	1	2									1Q	
	◎	線形代数2	1	2									2Q	
	◎	線形代数3	1		2								3Q	
	◎	線形代数4	1		2								4Q	
	○	基礎無機化学1	1	2									1Q	
	○	基礎無機化学2	1	2									2Q	
	○	基礎有機化学1	1	2									1Q	
	○	基礎有機化学2	1	2									2Q	
	○	基礎物理化学1	1		2								3Q	
	○	基礎物理化学2	1		2								4Q	
	◎	物理学実験	2			4							1Q 2Q	
	○	生物学概論C1	1	2									1Q	
	○	生物学概論C2	1	2									2Q	
	○	基礎地学1	1	2		(2)							1Q	
	○	基礎地学2	1	2		(2)							2Q	
	◎	初年次セミナー	1	2									1Q	
	専門科目	●	古典力学Ⅰ	1	2									1Q
		●	古典力学Ⅱ	1	2									2Q
●		剛体の力学	2		4								3Q	
●		解析力学Ⅰ	2		4								4Q	
●		解析力学Ⅱ	2			4							1Q	
●		惑星学基礎Ⅰ-1	1	2									1Q	
●		惑星学基礎Ⅰ-2	1	2									2Q	
●		惑星学基礎Ⅱ-1	1		2								3Q	
●		惑星学基礎Ⅱ-2	1		2								4Q	
◎		現代物理学Ⅰ	1	2									1Q	
◎		現代物理学Ⅱ	1	2									2Q	
●		古典電磁気学Ⅰ	1		2								3Q	
●		古典電磁気学Ⅱ	1		2								4Q	
●		電磁気学Ⅰ	2			4							1Q	
●		電磁気学Ⅱ	2			4							3Q	
●		電磁気学Ⅲ	2			4							4Q	
●		熱統計物理学	2			4							4Q	
●		惑星流体力学Ⅰ	1			2							3Q	
●		惑星流体力学Ⅱ	1			2							4Q	
●		統計物理学Ⅰ	2				4						1Q	
●		統計物理学Ⅱ	2				4						2Q	
●		統計物理学Ⅲ	2					4					3Q	
●	統計物理学Ⅳ	2					4					4Q		
△	解析学Ⅲ	2			4							2Q		
●	物理数学Ⅰ	2			4							3Q		
●	物理数学Ⅱ	2			4							4Q		
●	物理数学Ⅲ	2				4						1Q		
●	物理数学Ⅳ	2				4						2Q		

物理学科 (◎印は必修科目を、○印は選択必修科目を、●印は選択必修科目Ⅰ類を、△印は選択必修科目Ⅱ類を、▲印は選択科目を、◇印は特別研究A(実験系)又は特別研究B(理論系)のうちいずれかが必修科目であることを示す。)

授業科目の区分	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位数	毎週の授業時間数								備考
				1学年		2学年		3学年		4学年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
●	量子力学Ⅰ	2					4					1Q
●	量子力学Ⅱ	2					4					2Q
●	量子力学Ⅲ	2						4				3Q
●	量子力学Ⅳ	2							4			4Q
△	物理学情報処理演習	2			4							1Q 2Q
△	特殊相対性理論	2				4						3Q
△	電磁気学	1					2					1Q
△	宇宙物理学	2					4					隔年開講, 1Q
△	一般相対性理論	2					4					隔年開講, 1Q
△	物性物理学Ⅰ	2						4				3Q
△	物性物理学Ⅱ	2							4			4Q
△	素粒子物理学	2							4			4Q
●	物理実験学	2			4							2Q
◎	物理学実験Ⅰ	1.5				6						3Q
◎	物理学実験Ⅱ	1.5				6						4Q
●	物理学実験Ⅲ	1.5					6					1Q
●	物理学実験Ⅳ	1.5						6				2Q
●	物理学実験Ⅴ	1.5							6			3Q
●	物理学実験Ⅵ	1.5							6			4Q
△	先端物理学									*	*	その都度定める
△	特別講義											その都度定める
▲	物理学科化学概論	2		2								3Q 4Q
▲	物理学科生物学概論	2	2									1Q 2Q
▲	物理学科地学概論	2		2								3Q 4Q
◇	特別研究A(実験系)	10									←10→	
◇	特別研究B(理論系)	6									←6→	

共通専門基礎科目 ◎ 10単位
○ 2または4単位

その他の専門科目 ◎ 6単位
◇ 6(理論) or 10(実験)単位
● 43~56単位
△ 4~24単位

理学部HPより

	基礎科目	実験系科目	専門的科目	現代物理学の紹介	卒業研究
1年 1・2Q	●古典力学I ●古典力学II ●惑星学基礎 I -1 ●惑星学基礎 I -2			■初年次セミナー ■現代物理学 I ■現代物理学II	
1年 3・4Q	●剛体の力学 ●解析力学 I ●惑星学基礎II-1 ●惑星学基礎II-2 ●古典電磁気学I ●古典電磁気学II				
2年 1・2Q	●電磁気学I ●電磁気学II ●解析力学II	■物理学実験 ●物理実験学 ●物理学情報処理演習			
2年 3・4Q	●物理数学I ●物理数学II ●惑星流体力学1 ●惑星流体力学2 ●熱統計物理学 ●電磁気学III	■物理学実験I ■物理学実験II	●特殊相対性理論		
3年 1・2Q	●物理数学III ●物理数学IV ●量子力学I ●量子力学II ●統計物理学I ●統計物理学II	●物理学実験III ●物理学実験IV	●電磁力学 ●一般相対性理論		
3年 3・4Q	●量子力学III ●量子力学IV ●統計物理学III ●統計物理学IV	●物理学実験V ●物理学実験VI	●物性物理学I ●物性物理学II ●素粒子物理学		
4年 1・2Q			●先端物理学		特別研究A (実験系)
4年 3・4Q			●先端物理学		特別研究B (理論系)

■ 必修科目 ● 選択必修科目 I 類 ● 選択必修科目 II 類
 ■ 全学共通授業科目 () の科目は今年度は開講していません。
 これらの科目種別は、留年せずに進級した場合に該当するものです。留年生は入学時の便覧を参照して下さい。

1,2年次配当
 この中で単位認定されな
 かった授業の履修。
 (この中から単位認定が行
 われている。)

3年次配当
 基本的には、この中の授業
 を中心に履修していく。

4年生に進級する(研究室配属される)ための要件

履修に関する内規(物理学科)

(物理学科)

1. 理学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目は物理学科が認めるものに限り卒業必要単位として認める。
3. 特別研究A(実験系)または特別研究B(理論系)を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 外国語科目, 健康・スポーツ科学, 情報科目, 基礎教養科目, 総合教養科目, 共通専門基礎科目にかかわる必修科目全ての単位, 及び高度教養科目2単位。
 - ロ. 物理学科の専門科目(共通専門基礎科目を除く。)のうち, 必修科目6単位及び選択必修科目I類から39単位を含む56単位以上。
 - ハ. 物理学実験Ⅲ, Ⅳまたは物理学実験Ⅴ, Ⅵの単位。
4. 選択必修科目I類は基礎となる授業科目で, 全て修得することが望ましい。選択必修科目II類は専門性の高い授業科目である。

重要:イ. 全学共通科目の必修すべて。高度教養科目の2単位
ロ. 専門科目56単位以上 → (◎すべて) + (●39単位以上)
を含む必要有り。

4年生に進級する(研究室配属される)ための要件

履修に関する内規(物理学科)

(物理学科)

1. 理学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目は物理学科が認めるものに限り卒業必要単位として認める。
3. 特別研究A(実験系)または特別研究B(理論系)を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 外国語科目, 健康・スポーツ科学, 情報科目, 基礎教養科目, 総合教養科目, 共通専門基礎科目にかかわる必修科目全ての単位, 及び高度教養科目2単位。
 - ロ. 物理学科の専門科目(共通専門基礎科目を除く。)のうち, 必修科目6単位及び選択必修科目I類から39単位を含む56単位以上。
 - ハ. 物理学実験Ⅲ, Ⅳまたは物理学実験Ⅴ, Ⅵの単位。
4. 選択必修科目I類は基礎となる授業科目で, 全て修得することが望ましい。選択必修科目II類は専門性の高い授業科目である。

重要:イ. 全学共通科目の必修すべて。高度教養科目の2単位
ロ. 専門科目56単位以上 → (◎すべて)+(●39単位以上)
を含む必要有り。

2,3年次の授業をきちんと取っていないと4年に進級できない!!!

Ⅲ. 履修取消制度について

学生便覧 p.243-4

学期初めに履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、クォーター毎に設けられる履修取消期間中に、履修を取り消すことができます。

単位取り消し について

〔履修取消期間〕

各クォーターの履修取消期間は別途掲示等でお知らせします。

〔取消の対象となる科目〕

以下のとおり、授業が始まるクォーターの履修取消期間に取消が可能です。

	取消の対象となる開講科目
第1クォーター履修取消期間	第1クォーター開講科目、前期開講科目、通年開講科目
第2クォーター履修取消期間	第2クォーター開講科目
第3クォーター履修取消期間	第3クォーター開講科目、後期開講科目
第4クォーター履修取消期間	第4クォーター開講科目

☆履修登録や履修取消は、原則として学生自らが「うりぼーネット」(Web)で行います。

- ・取り消した科目は、「履修科目一覧表」や「学業成績表」で確認でき、GPA計算式に入りません。
- ・履修取消期間中に取り消さなかった科目は、成績評価の対象となります。取り消さずに途中で履修を中止した場合、**成績評価は「不可」(不合格)となり、GPA計算式に入ります**ので、注意してください。

・取り消した科目も「履修登録単位の上限(CAP制)」(*)の単位数に入ります。

履修登録前までに、各授業科目のシラバスで授業内容を必ず確認し、年間の履修計画をしっかりと立てた上で、履修登録と履修取消を行ってください。

(*「履修登録単位の上限(CAP制)」とは、年間又は学期毎に履修登録できる単位数の上限のことです。上限の単位数については、所属学部・研究科毎にお知らせします。)

- ・取り消した科目は、履修取消期間終了後、その開講期間中に再び受講(履修)することはできません。

※修学上の理由から、「履修取消ができない科目」と「履修取消期間中に取消ができない科目」があります。詳細については、所属学部・研究科毎にお知らせします。

学生便覧 p.37~38

休講について

JR, 阪急、阪神
のうち2線が同時
に運休した場合

・大雨警報だけ
では休講になら
ない！

・神戸市に警報
が出ないと休講
にならない！

交通機関の運休、気象警報の発表、避難勧告・避難指示の発令時における授業、定期試験の休講措置について

平成28年1月27日 全学教務委員会 決定
平成30年9月26日 全学教務委員会 一部改正
平成31年2月20日 全学教務委員会 一部改正

交通機関の運休、気象警報の発表、避難勧告・避難指示の発令時の対応については、下記のとおり取り扱うものとする。

記

1. 交通機関の運休の場合

<1>六甲台地区において開講する授業

次の(1)又は(2)のいずれかに該当する場合、当日のその後に開始する授業(定期試験を含む)を休講とする。

- (1) JR西日本(神戸線(大阪駅~姫路駅))、阪急電鉄(神戸本線(梅田駅~神戸三宮駅))及び阪神電気鉄道(阪神本線(梅田駅~元町駅))のうち2線が同時に運休した場合
 - (2) 神戸市バス16系統及び36系統が同時に運休した場合
- ただし、次の場合は授業を実施する。

- ① 午前6時までに、交通機関が運行した場合は、1時限目の授業から実施する。
- ② 午前10時までに、交通機関が運行した場合は、午後1時以降に開始する授業から実施する。
- ③ 午後2時までに、交通機関が運行した場合は、午後5時以降に開始する授業から実施する。

2. 気象警報の発表の場合

神戸市に警報(ただし暴風、大雪、暴風雪に限る)又は特別警報が発表された場合、当日のその後に開始する授業(定期試験を含む)を休講とする。

なお、気象警報が広域に発表された場合は、神戸市が含まれている場合にこの取扱いを適用する。

ただし、次の場合は授業を実施する。

- (1) 午前6時までに、気象警報が解除された場合は、1時限目の授業から実施する。
- (2) 午前10時までに、気象警報が解除された場合は、午後1時以降に開始する授業から実施する。
- (3) 午後2時までに、気象警報が解除された場合は、午後5時以降に開始する授業から実施する。

教員免許状取得のための説明会

別途オンラインで行われる予定です。

〔注意事項〕

『学生便覧』を持参してください。